

香川県立中央病院整形外科専門研修プログラム

目次

1. 整形外科専門研修プログラムにおける基本理念・特色
2. 整形外科専門研修計画について
3. 整形外科専門研修計画について
 - 3.1 基本方針
 - 3.2 研修計画
 - 3.3 研修プログラムの評価計画
 - 3.4 専攻医の就業環境について
 - 3.5 整形外科研修の休止、中断、プログラムの移動、プログラム外研修条件について
4. 研修スケジュール、ローテーション、専門研修施設、指導医について
 - 4.1 研修スケジュール
 - 4.2 専門研修施設、ローテーション
5. 専門研修プログラムを支える体制
6. 専攻医の採用と方法と研修の修了について

1. 香川県立中央病院整形外科専門研修プログラムにおける基本理念・特色

<理念>

整形外科は「骨・関節・筋肉・脊椎脊髄・神経など」の運動器の疾病・外傷などの疾患を取り扱う診療科です。近年、急激に進む高齢化社会と並行して整形外科で診療する患者の数は増加の一途です。

整形外科専門研修プログラム（以下、本研修プログラムとする）の目的は、整形外科疾患を持った患者を適切に管理できるようになるために、臨床に必要な基礎的な知識と技術を習得し、診断・治療における問題解決能力と臨床的技能・態度を身につけることを目標としています。

<特色>

本研修プログラムの特色として、専攻医が、研修カリキュラムの内容を達成することを条件とし、大学病院、関連医療施設での研修を行います。大学病院での研修は半年間を予定しており臨床研修とともにリサーチマインドの養成に努めるようにします。また関連医療施設ネットワークの中での研修においても、臨床的な疑問点を見出して解明しようとする意欲を持ち、その解答を科学的に導き出し論理的にまとめる能力を習得するように努めます。さらにチーム医療の推進に努め、地域医療に関心を持ちつつ研修することで、健康の保持、疾病の予防から社会復帰に至る医療全般の責任を有することを自覚する整形外科医に成長できると考えています。

2. 整形外科専門研修後の成果

本研修プログラムを修了した専攻医は、あらゆる運動器に関する医学的知識と高い社会的倫理観を備え、進歩する医学の新しい知識と技能を修得できるような幅広い基本的な臨床能力が身についた整形外科専門医になることができます。また、同時に専攻医は研修期間中に以下のコアコンピテンシーも習得できます。

- 1:幅広い教養を持った完成豊かな人間性を備え、深い洞察力と倫理観、生命の尊厳について適切な理解と認識をもつこと。
- 2:医師として患者から人間としても信頼され、患者と一体となって、患者中心・

患者本位の全人的医療の推進に努めること。

- 3: 医の倫理、医療安全等に配慮し、患者中心の医療を実践できること。
- 4: 診療記録の適格な記載ができること。
- 5: チーム医療の一員として行動すること。
- 6: 後輩医師に教育・助言・指導を行うこと。

3. 整形外科専門研修計画について

3.1) 基本方針

整形外科専門医は3年9カ月の研修で育成されます。研修実績の記録と評価には日本整形外科学会整形外科専門医管理システムを使用します。専攻医は、各研修領域終了時および研修施設移動時に日本整形外科学会が作成したカリキュラム成績表の自己評価欄に行動目標毎の自己評価を行います。また、指導医評価表で指導体制、研修環境に対する評価を行います。指導医は、指導医マニュアル（日本整形外科学会ホームページ参照）に示されるように専攻医が行動目標の自己評価を終えた後にカリキュラム成績表の指導医評価欄に専攻医の行動目標の達成度を評価します。また、指導医は抄読会や勉強会、カンファレンスの際に専攻医に対して教育的な建設的フィードバックを行います。

3.2) 研修計画

整形外科での研修で経験すべき疾患・病態は、専攻医マニュアル（日本整形外科学会ホームページ参照）に示されるように骨、軟骨、筋、靭帯、神経などの運動器官を形成するすべての組織の疾病・外傷・加齢変性です。

また、新生児から高齢者までの全ての年齢層が対象となり、その内容は多様です。この多様な疾患に対する専門技能を研修するために、整形外科専門研修は1か月の研修を1単位とする単位制をとり、全カリキュラムを脊椎、上肢・手、下肢、外傷、リウマチ、リハビリテーション、スポーツ、地域医療、小児、腫瘍の10の研修領域に分割し、専攻医が基幹病院および連携病院をローテーションすることで、それぞれの領域で定められた修得単位数以上を取得し3年9カ月で45単位を修得する修練プロセスで研修します。

① 経験目標（経験すべき疾患、病態、診察、検査、手術処置等）

経験すべき経験すべき疾患、病態、診察、検査、手術処置等は、香川県立

中央病院および連携施設で偏りがないように経験することができます。

② プログラム全体と各施設によるカンファレンス

各施設の研修委員会の計画の下、症例検討・抄読会はすべての施設で行います。専攻医の知識、技能習得のためのセミナーを専門研修プログラム管理委員会が企画・開催します。

③ 学術活動に関する具体的目標とその指導体制

研修期間中に専攻医が学会発表を年に1回以上、また論文執筆を1本以上行えるように指導します。専門研修プログラム管理委員会は全専攻医の学会発表数および論文執筆数を年1回集計し、面接時に指導・助言します。また当院においては図書室も完備され、また整形外科医局には各分野関連の成書も充実しており、さらにインターネットによる文献検索も随時可能であり、自己学習の環境も整備されています。

④ コアコンピテンシーの研修計画(医療倫理、医療安全、院内感染対策等)

整形外科専門医としての臨床能力(コンピテンシー)には、専門的知識・技能だけではなく、医師としての基本的診療能力(コアコンピテンシー)が重要であることから、どの領域から研修を開始しても基本的診療能力(コアコンピテンシー)を身につけさせることを重視しながら指導し、基本的診療能力(コアコンピテンシー)を早期に獲得させます

香川県立中央病院および各研修施設の医療倫理・医療安全講習会に参加し、その参加状況を年1回専門研修プログラム管理委員会に報告します。

⑤ 地域医療に関する研修計画

本研修での地域医療研修施設は小豆島中央病院または三豊市立永康病院を予定しています。3ヶ月の地域医療研修期間中も週1回は香川県立中央病院での手術およびカンファレンスに参加し指導の質を維持するようにします。

⑥ Subspecialty 領域との連続性について

整形外科専門医のサブスペシャリティ領域として、脊椎、リウマチ、手・上肢、スポーツなどがあります。本研修の香川県立中央病院および連携施設にはこれらのサブスペシャリティ領域の研修施設が含まれています。整形外科専門研修期間からこれらのサブスペシャリティ領域の研修を行うことができ、専攻医のサブスペシャリティ領域の専門研修や学術活動を支援します。

3.3) 研修プログラムの評価計画

① 専門研修プログラム管理委員会について

基幹施設である香川県立中央病院には、本研修プログラム管理委員会と統括責任者を置き、各連携施設には、連携施設担当者と委員会組織が置かれます。本研修プログラム管理委員会は、統括責任者(委員長)および連携施設担当で構成されます。

本研修プログラム管理委員会の主な役割は以下のとおりです。

1. 研修プログラムの作成・修正を行う。
2. 施設内の研修だけでなく、連携施設への出張、臨床場面を離れた学習としての学術集会や研修セミナーの紹介斡旋、自己学習の機会提供を行う。
3. 指導医や専攻医の評価が適切かどうかを検討する。
4. 研修プログラムの終了判定を行い、修了証を発行する。

② 基幹施設の役割

基幹施設は連携施設とともに研修施設群を形成します。基幹施設に置かれたプログラム統括責任者は、本研修プログラム管理委員会を代表して、専攻医の研修成果の統括的評価を行い、修了判定を行います。また、同じく研修プログラムの改善を行います。

③ 専攻医の評価時期と方法

専攻医および指導医は研修記録による研修実績評価を各研修施設での研修終了時に行い、専門研修プログラム管理委員会に提出します。

他職種も含めた香川県立中央病院および各研修施設での研修評価(態度も含めた総評)を各施設での研修終了時に行います。

専攻医は研修プログラムの取得単位、学会発表・論文執筆数、教育研修講演受講状況を年度末に専門研修プログラム管理委員会に提出し、専門研修プログラム管理委員会で評価します。

④ 専門研修プログラムの改善方法

本研修プログラムをより良いものにするために、専攻医からの意見を重視し、研修プログラムの改善を行います。専攻医は毎年時に指導医、研修施設、本研修プログラムに対する評価を行い、また指導医も研修施

設、本研修プログラムに対する評価を行います。これらの評価は質問紙への回答として本研修プログラム管理委員会に提出してもらい、研修プログラムの改善に役立っています。

3.4) 専攻医の就業環境について

専門研修の基幹施設および連携施設の責任者は、専攻医の労働環境改善に努めます。専攻医の勤務時間、休日、当直、給与などの勤務条件については労働基準法を遵守し、各施設の労使協定に従います。さらに、専攻医の心身の健康維持への配慮、当直業務と夜間診療業務の区別とそれぞれに対応した適切な対価を支払うこと、バックアップ体制、適切な休養などについて、勤務開始時点で説明を行います。

3.5) 整形外科研修の休止、中断、プログラムの移動、プログラム外研修条件について

卒業後に義務年限を有する自治医科大学、産業医科大学の卒業生、地域枠卒業生と出産、育児、留学などで長期にプログラムを中断しなければならない相当の合理的な理由がある場合は、カリキュラム制での研修を選択できることとなっています。

3.5) 修了要件

- ① 各習得すべき領域分野に求められている必要単位を全て満たしていること。
- ② 行動目標のすべての必修項目について目標を達成していること。
- ③ 臨床医として十分な適正が備わっていること。
- ④ 研修期間中に日本整形外科学会が主催または認定する教育研修会を受講し、所定の手続きにより 30 単位を修得していること。
- ⑤ 1 回以上の学会発表、また筆頭著者として 1 編以上の論文があること。

以上、①～⑤の修了認定基準をもとに、専攻研修 4 年目の 12 月に専門研修プログラム管理委員会において修了判定を行います。

4. 研修スケジュール、ローテーション、専門研修施設、指導医について

4.1) 研修スケジュール

香川県立中央病院では、香川県の中核病院として、最新の設備と豊富な症例を経験しながら、専門分野ごとの症例検討や抄読会等より専門的な知識・技能を指導します。

以下に研修スケジュールを下表1に表します。

表1. 香川県立中央病院整形外科週間診療スケジュール(例)

	月	火	水	木	金
7:00~				English Conf. (隔週)	
7:30~	Morning Conf. カルテ回診	Morning Conf.	Morning Conf. 術前Conf.	Morning Conf.	Morning Conf. 術後Conf.
8:00~					
8:30~					
9:00~	外来診療 ・ 病棟新生児検診	手術	外来診療 ・ リハ科外来診療	手術	病棟業務 ・ 処置
9:30~					
10:00~					
10:30~					
11:00~					
11:30~					
12:00~	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み	昼休み
12:30~					
13:00~	病棟総回診	手術	病棟業務	手術	病棟業務 ・ 検査 ・ レポート作成など
13:30~					
14:00~					
14:30~	病棟業務 ・ 検査	手術	病棟業務	手術	病棟業務 ・ 検査 ・ レポート作成など
15:00~					
15:30~					
16:00~					
16:30~					
17:00~					
17:30~					

備考:

- ・表中の Conf. はカンファレンスを表します。
- ・Morning Conf. では1月に2回程度米国人英語講師を招き英語による症例検討を行っています。

4.2) 専門研修施設、ローテーション

本研修での専門研修基幹施設は香川県立中央病院です。専門研修連携施設は6施設(岡山大学病院、かがわ総合リハビリテーション病院、屋島総合病院、三豊総合病院、三豊市立永康病院、小豆島中央病院)あります。尚、岡山大学病院とは長年人事交流があり、香川県以外の病病連携、病診連携を経験すること、また大学においてリサーチマインドを涵養する事を目的に他県での研修を行います。それぞれの施設研修のローテーション例を下表2に示します。

表 2. 専門研修連携施設ローテーション例

ローテーション例①		ローテーション例②	
1年目	香川県立中央病院	1年目	三豊総合病院
2年目前半	岡山大学	2年目前半	岡山大学病院
2年目後半	かがわ総合リハビリテーション病院	2年目後半 ～ 4年目	香川県立中央病院
	三豊市永康病院		
3年目前半	屋島総合病院	4年目後半	かがわ総合リハビリテーション病院
3年目後半 ～ 4年目	香川県立中央病院		小豆島中央病院

5. 専門研修プログラムを支える体制

① 専門研修プログラムの管理運営体制

基幹施設である香川県立中央病院においては、指導管理者(プログラム統括責任者兼務)および指導医の協力により、また専門研修連携施設においては指導管理責任者および指導医の協力により専攻医の評価ができる体制を整備しています。専攻研修プログラムの管理には日本整形外科学会が作成した指導医評価表や専攻医評価表などを用いた双方向の評価システムにより、互いにフィードバックすることによって研修プログラムの改善を行います。

② 専門研修指導医

指導医は専門研修認定施設に勤務し、整形外科専門医の資格を1回以上更新し、なおかつ日本整形外科学会が開催する指導医講習会を5年に1回以上受講している整形外科専門医であり、本研修プログラムの指導医は上記の基準を満たした専門医です。指導医は、日本整形外科学会が行う指導医講習会等を受講してフィードバック法を学習し、より良い専門医研修プログラムの作成に努めています。指導医講習会には、フィードバック法を学習するために「指導医のあり方、研修プログラムの立案(研修目標、研修方略及び研修評価の実施計画の作成)、専攻医・指導医及び研修プログラム評価」などが組み込まれています。

6. 専攻医の採用と方法

採用方法

本研修プログラム管理委員会は、毎年10月1日から香川県立中央病院のホームページでの広報や研修説明会等を行い、整形外科専門医を募集します。研修プログラムへの応募者は、10月末までに研修プログラム責任者宛に所定の形式の『香川県立中央病院専門研修プログラム応募申請書』および履歴書、医師免許証の写し、保険医登録証の写しを提出して下さい。申請書は以下のいずれかの方法で入手可能です。

- 1) 香川県立中央病院の Website(<http://www.chp-kagawa.jp>)よりダウンロードする。
- 2) 電話での問い合わせ、依頼する。(087-811-3333)
- 3) e-mail で問い合わせ、依頼する。(ve7526@pref.kagawa.lg.jp 担当者 総務企画課 津郷博文)

原則として11月に書類選考および面接を行います。採否については数日後に本人に文書で通知します。